

知られざる青梅の魅力を訪ね歩く——「青梅うんちく散歩」(2015年早春)

鎌倉から昭和まで、かつて人々が歩いた道は？ 青梅～日向和田に残る昔道をじっくり探訪

- 散歩の日：3月21日(土・祝)
- 集合場所：JR 青梅線 青梅駅 (電話ボックス脇)
- 集合時間：午前 10 時
- 参加費用：2,500 円 (※資料代、保険料、食事代等を含みます)
- 募集定員：25 人 (最少催行人数：5 人)
- 応募締切：3月19日(木)

戦後、道が拡幅され、アスファルトで舗装され、新しい道すらもできてしまったことで、どれが昔の道で、それが、かつてはどうだった様子だったのかが、すっかりわからなくなっていました。

青梅では、古い地図や地元のお話などから、今もまだ、ある程度は古い道をたどることが出来ます。

今回のうんちく散歩では、青梅から日向和田に至るエリアに残る昔道の痕跡を探しながら、歩いてみようと思います。

■ 今回の散歩コース

(10:00) 青梅駅に集合、出発

- (10:15) 江戸時代初期に人工的に作られた「青梅市街」
- (10:25) 「帳屋横丁」の降り坂は江戸期の御嶽詣の参道
- (10:40) かつては青梅の中心であった「金剛寺」
- (11:10) 史跡「男井戸女井戸」に残る旅の僧の伝説
- (11:20) 古社「八坂神社」と「天ヶ瀬淵」の龍の伝説
- (11:40) 戦略上の要衝だった「盾の沢」と「盾の館跡」
- (12:20) 早春の香り漂う「日向和田臨川庭園」(休憩)
- (12:50) 江戸以前からの昔道と「明白院」へと至る参道
- (13:05) 上下水道関連施設が多い、旧道と新道の合流付近
- (13:20) 昭和の名作にも記述が残る「神代万年橋の渡し」
- (13:30) 梅郷の老舗そば処「谷津」で昼食～現地解散



「男井戸女井戸」伝説はここが街道であったことの証？



梅の香が漂う「臨川庭園」にも立ち寄り

※コース内容は事前に告知をすることなく変更になる場合があります。

※当日は7～8kmほどは歩くことになると思います。

※杉花粉の飛散がピークとなる時期です。アレルギーの方はマスクなどをお忘れなく！

◆ 注意事項

- 散歩がしやすい靴や服装でご参加ください。
- 眼鏡、筆記用具、デジタルカメラなどは各自でご持参ください。
- 交通費、お土産代等は各自のご負担となります。

★お申し込みはお電話で！

0428-24-5364 または **080-3171-4071 (大倉)**

- ・お電話にて、参加者のお名前、連絡先等の必要事項をお伝えください。
- ・小雨程度であれば、基本的には決行します。大雨などの荒天が予想される場合には中止します。中止の際には、参加申込者には、前日(3月20日)の夕方頃までにお電話にてご連絡いたします。
- ・参加費用は当日、集合場所にて徴収いたします。できるだけ釣り銭の要らぬよう、お願いします。

主催：NPO 法人 青梅まちづくりネットワーク